

愛知県・安城市において貸出用移動電源車からの電源供給訓練を実施

東海総合通信局(局長 北林 大昌)は、令和5年9月3日(日)、安城市総合運動公園で実施された「愛知県・安城市総合防災訓練」に参加し、災害時に地方公共団体や民間事業者(電気通信事業者及び放送事業者)に貸出しを行うことができる移動電源車と移動通信機器(衛星携帯電話、MCA無線機及び簡易無線機)の展示を行いました。移動電源車は、災害の発生により、地方公共団体が運用する防災行政無線や民間事業者が運用する携帯電話基地局等への電力供給が途絶し、重要な情報通信ネットワークの機能維持に支障が生じた場合に備え準備しているものです。また、移動通信機器は、地方公共団体等が災害の発生時に被害情報の収集や応急復旧活動に不可欠な通信を確保するために貸出しを行うものです。

展示会場では、西日本電信電話(株)が衛星通信を利用した特設公衆電話の設置訓練のために準備した衛星通信移動無線車に対して、当局の移動電源車から電源を供給する訓練を実施しました。

当日は、本訓練の主催者である大村愛知県知事と三星安城市長が当局のブースを訪問され、電源供給訓練の内容や東海総合通信局の災害時の取組について説明を行いました。

また、当局のブースを見学いただいた方々は、これまでの東海総合通信局の災害対応の説明に熱心に耳を傾けていただき、こうした取組を当局が行っていることに驚かれる場面もありました。

当局では、引き続き、地方公共団体主催の防災訓練に参加することにより、地域の方々に、当局の防災・減災の取組について理解を深めていただくとともに、地方公共団体や民間事業者等が行う被害情報の収集や応急復旧活動が迅速に行えるよう多様な情報伝達手段の確保を図ってまいります。



【展示ブースに設置した移動通信機器】



【東海総合通信局の取組について説明】



【当局の災害支援用移動電源車】



【当局の移動電源車からNTT西日本の衛星通信移動無線車に電源を供給】



【大村愛知県知事と三星安城市長の視察】